



不 高 学 友 会 だ よ り

発行所
 埼玉県立不動岡高等学校
 校友会
 加須市不動岡1-7-45
 電話 0480 (61) 0140

不動岡の「進化」は続きます

七四年ぶりに日本の最高気温を更新した(熊谷)として岐阜県多治見市で四〇度九分を観測)暑い夏でした。早いもので、本校にとつての記念すべき式典から一年が経とうとしています。昨年の今頃は、式典に向けての具体的な準備に追われた忙しい日々を送っていたことを思い出します。

まずは「新校舎落成並びに創立百二十周年記念事業」が無事にそして盛大なうちに終了したことをご報告いたします。これも一重に校友会の皆様のご理解とご協力のお蔭であると感謝いたしております。また今年の三月には改築工事の最後に残った東グラウンドが完成しました。それも県の配慮により当初設計されていたよりも広いグラウンドとして、今年の体育祭は四年ぶりにこの東グラウンドで行なわれました。こうして七年にも及んだ本校の全面改築工事も無事に終了したことも合わせてご報告いたします。

一八八六年(明治十九年)に埼玉東部に産声をあげた不動岡高校は、創立して百二十一年が過ぎ、今年百二十二回生が入学しました。それも全く新しい教育システムであるセメスター制(半期単位認定制)の一期生となる生徒たちとし

て。今私は百二十周年記念事業の一つとして立ち上げた「不動岡市民大学」の講座「歌舞伎の魅力と楽しみ方」の世話役をしています。その第一回目の講義で講師の高城三郎先生はこう切り出しました。「歌舞伎が生まれたのは徳川家康が江戸に幕府を開いた一六〇三年。今から四百年以上前のことです。とても古い伝統のある芸能ですが、その伝統に胡坐をかいてこなかった。いつも新しいことに挑戦してきた。だからこれだけ長く続いてきたのだと思いますし、その自信は伝統に裏打ちされたものもあるのだと思います。」私はこの話を聞きながら「これは不動岡のことでもあるな」と感じながら聞いていました。

不動岡高校は、埼玉県では一番古い高校。そして全国でも十数番目に創立した高校です。またそのスタートは、国の施策によって作られたのではなく、まさにこの地域の人たちの熱い想いと努力によって創られたものでした。つまり在野から生まれた学校です。そこに私は「雑草魂」を感じるので、それは、何事にも臆せず、常に新しいことに挑戦していく精神(スピリット)です。しかも、その伝統に胡坐をかいてはいません。常に時代の空気を読み、新しいものに挑戦してきたから今があるのだと思います。その姿を象徴するのが、この新しい校舎だと思えます。長い歴史をもった旧校舎の面影はどこにもありません。新しいビジョンを作り、そのビジョンに基づいた新しい校舎を作り上げてしまいました。そして「不動岡の教育」も新しいものに作り変えました。それが十九年度からスタートした「セメスター制」六十五分



授業・半期単位認定制」です。この教育システムは、大阪の府立進学校二校が採用しているだけで、本校は全国で三校目の、そして埼玉県では初めての実践になります。また、このシステムを充実させるために、二十年度から「進学重視型単位制高校」に移行することにしました。これまでは学年進行型のカリキュラムを組んできましたが、これからは、一つ一つの「授業」を重視するシステムとなります。半期ごとに単位を認定していくセメスター制は、授業を中心とする単位制のほうがよりその効果が期待できるためです。

新しいことに常に挑戦する、それができるといふことは、実はしつかりとしたバックボーンがあるからだと思います。それは不動岡が今まで培ってきた歴史・伝統です。このバックボーンがある限り、そして不動岡がこれまで培ってきた「雑草魂」が忘れられない限り、不動岡は「進化」続けていきます。

【記念行事実施委員長】
 長島 巖(八十二回卒)

同窓会

第七十二回卒業同窓会
ホテルオークラ東京に集う

平成十八年十一月二十日、昭和
三十五年度第七十二回卒業同窓会を
ホテルオークラで開催致しました。
五年前にも同ホテルにて還暦を祝
して行いましたが、今回は高齢者
入り？記念しての思い出を作ろう
という企画でした。

百六名の参加者と共に、恩師金
井忠夫先生をお迎えして大いに語
り合い話題の尽きない二時間三十
分でした。当ホテルで総料理長を
務める根岸規雄君も同期（羽生市
出身）と云う事もあり、料理等に
は特に気を使っていただき、日本
一とも云われる味に参加者全員
（特に女性）は満足した様子でし
た。

次回の同窓会もなるべく近い内
に企画と云う約束で散会致しまし
た。
平成十八年十二月吉日
発起人代表 加庭 寿久

七十七回一組二組三組
合同クラス会

九月二日(日)、還暦を記念して、
第七十七回卒業生一組二組三組合
同クラス会を実施しました。当日
は穏やかな秋晴れでした。

十一時に受付、記念撮影の後、
小野田先生のご案内で新校舎を見



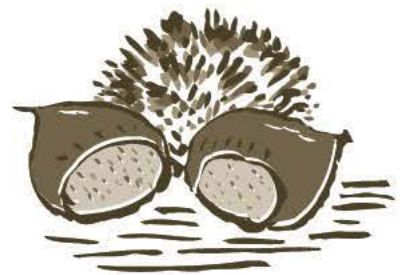
学しました。十二時から母校記念
館にて、恩師の先生を三名（前田
先生九四才、鎌田先生七一才、内
田先生七一才）お迎えして会が始
まりました。参加者は六十二名、
校歌斉唱、黙祷、挨拶、乾杯の後、
歓談。恩師の先生との語らい、あ
ちこちで起る談笑の渦、スナッ
プ写真の撮影。最後に想い出の歌
コーナーでは「美しい十代」「高
校三年生」「学生時代」を熱唱、
心がひとつになりました。記念写
真配布の後、盛会のうちに三時に
閉会になりました。
幹事代表 増田 清子

八十五期同窓会

八月五日(日)、大宮パレスホテル
において、八十五期学年合同同窓
会「卒業三十五年目の集い」が開
催されました。

今年の夏は今まででない暑さで
したが、奈良昭男先生、松本治彦
先生、遠井澄先生、清水義雄先生、
柿沼貞雄先生もご出席され、九十
六名の参加となりました。着席パ
ーティーのせいでしょうか、五年
前の時より、落ち着いた雰囲気で
した。

私達の学年は、最初の男女混合
クラスでした。そのせい、男女



隔てなく話も盛り上がっているよ
うでした。今回の話題は、「健康
について」や「親の介護について」
が多かったようです。

皆さん健康に気をつけましょう。
五年後の同窓会でまたお会いする
ことを楽しみにしています。
(高野 和子)

八十五回卒業
理科学部OB会

平成十九年六月十七日(日曜日)
加須市の句彩遊膳しようぞうにて
不動岡高校八十五回卒業理科学部
OB会を開催しました。八十五回
卒業の部員は十五名おりますが、
十三名のみなさんが参加しました。
当時の理科学部は無線班（アマチ

ユア無線機器の機器設計・製作・
交信）、航空班（航空機模型設計・
製作・操縦）、オーディオ班（H
IFIアンプ設計製作、試聴）、
物理班（半導体特性分析等）に各
部員が所属し活動をしておりまし
た。トランジスタ機器の普及が始
まったころですが、真空管を駆使
した機械にて世界中と無線交信し
たり、真空管増幅器（いわゆる球
アンプ）の設計や、エアロスバル
ホーパークラフト模型など設計製
作し無線による遠隔操縦など、最
新式半導体の特性解析など実施し
ておりました。当時の経験を糧に
現在も趣味として活躍しているO
Bもおりました。

部長であった川田君の乾杯をか
わりに懇親会となりました。各





OBは卒業以来三十五年ぶりに再会する方や、それぞれの方面で中核者として活躍している方、自営業の経営者の方など、当時の活動を懐かしんだり、学校のこと、地域のこと、教育のこと、技術社会のこと、各OBの活躍状況など熱気あふれるさまざまな意見交換をして、あっという間に5時間が経過してしまいました。次回は全員の参加、顧問の先生のお迎えすることで、再開を約束し散会となりました。

(文責 大塚 均)

八十七回同窓会

「人生の節目を母校にて」

私達八十七回卒業生は、今年五月二十七日約三十年ぶりの同窓会を九十九名の参加者と七名の恩師を迎へ、不高の食堂をお借りして開催しました。昨年十一月に新校舎落成並びに百二十周年という記念すべきこの年に私達もちようど五十歳という人生の節目を迎えたのでそれをきっかけに青春の思い出深い母校に集まろうと地元有志を中心に実現しました。当日は

様変わりした校舎の見学から始まり記念写真や仲間のコンサートなどを中心に一瞬にして学生時代にタイムスリップしたかの様な楽しい一時でした。

鎮守



大空から見る

母校の風景

六十八回卒 平 沢 一 郎

六十八回卒平沢一郎さんはスカイスポーツ歴七年。羽生滑空場から離陸するグライダーに乗り、大空から母校の変遷を見守ってきました。

新校舎群が展開、整備された最近の母校の風景には、もはや我々の記憶に残る面影はなく、僅かに桜並木を更新したポプラ並木が郷愁を感じさせてくれます。また、新校舎は、周囲の自然の景色の中で一段と輝きを増して浮び上がり、しっかりと不動岡高校の伝統を主張しているようです。

(平沢さんの書面より抜粋)



二〇一一年十月二十七日撮影



二〇〇七年五月十二日撮影

二〇〇七年度の入試結果

今年度の現役生のセンター試験出願者数は、355名で、約96・1%の出願率であった。

国公立大学の合格件数は84名で昨年より3名減り、内訳は、現役70名(+3名)、浪人14名(-6名)であった。私立大学の合格件数は、793件で、現役629件(+37件)、浪人164名(-121件)であった。また、現役合格率は

84・6% (昨年82・8%)、現役進学率は77・6% (昨年75・3%)といずれも昨年を大幅に上回りました。進学先人数を見ると、四年制大学283名(+22)、短大3名(-1)、専門学校14名(±0)、就職0名(-1)、留学2名(+1)、その他(進学準備)66名(-7名)でした。現役志向の高まりを反映した結果といえよう。

国公立合格大の内訳は左表を参考にして下さい。今年の埼玉大の合格者数は全国1位でした。国公立大の合格者の減少は浪人の減少によるものです。

現役で大学進学者が283人

あったが、学部別進路件数でみると、経済経営商学部系が最も多く45件、続いて人文系が34件、工学系29件、教育系27件、看護医療系27件、法学政治25件、理学系21件、教養系21件、医療保健系14件、家政系11件、国際学系10件、薬学4件となっています。

今年度現役生の特徴としては、①国公立大の受験者185(-17)は減少したものの合格者数70(+3)で増加した。②国公立志向の減少③大学別では国公立は難関大学の旧帝大に合格者はなかったものの、お茶の水女子大、筑波大、千葉大、東京学芸大、首都大東

京等合格者を出した。④早慶は減少したが上智大学は増えた。MARCHEクラス合格は昨年並であった。⑤昨年同様私立大では、文系学部で健闘したが、理系学部で特に苦戦した。

文責 八十五回卒

進路指導主任 小野田幸夫

現役合格率 84.6% **現役進学率 77.6%**

過去4年間の合格者(延べ人数)

大 学 名	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
旭川医科	0	1	0	0
北海道	2	0	0	0
東北	3	0	2	0
岩手	1	0	1	0
茨城	2	1	0	2
筑波	4	9	9	5
宇都宮	10	4	7	1
群馬	0	7	4	5
埼玉	31	35	22	30
千葉	4	8	5	5
東京海洋	1	1	1	0
お茶の水	0	0	0	2
電気通信	0	1	0	1
東京	3	0	1	0
東京外語	0	2	4	0
東京学芸	3	4	2	5
東京農工	0	2	3	1
一橋	1	1	1	1
横浜国立	1	1	1	3
新潟	1	0	1	2
信州	1	0	1	0
静岡	0	0	0	1
三重	0	0	0	1
大阪外語	0	0	0	1
札幌医科	0	0	1	0
群馬健康科学	0	1	1	0
群馬県立女子	0	1	1	1
高崎経済	4	5	4	3
埼玉県立	5	4	6	7
首都大学東京	—	3	1	5
横浜市立	1	1	3	1
都留文科	2	1	1	1
その他	15	4	4	0
国公立合計	95	97	87	84

大 学 名	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
獨協	53	63	39	47
文教	32	24	35	38
青山学院	19	16	11	15
学習院	23	16	12	14
共立薬科	3	1	2	3
慶応	6	6	5	2
国学院	5	7	12	7
国際基督教	0	3	1	2
駒澤	17	23	25	26
芝浦工業	36	35	31	19
上智	8	6	8	11
女子栄養	5	6	3	1
成蹊	13	11	13	5
成城	4	7	14	11
中央	26	18	24	20
津田塾	6	3	6	1
東京女子	7	5	7	11
東京電機	23	33	17	9
東京農業	9	12	8	5
東京理科	36	28	26	20
東京薬科	3	2	1	2
東洋	67	61	84	80
日本	38	60	50	56
日本女子	18	8	18	15
法政	59	51	53	50
明治	57	37	49	43
明治学院	12	10	9	7
明治薬科	4	6	5	5
立教	53	29	52	46
早稲田	29	22	22	14
立命館	1	4	1	3
同志社	2	1	0	4
その他	207	203	235	201
私立合計	881	817	878	793

現在の不動岡高校

姉妹校相互訪問で国際交流深める

オーストラリアのキングガロイ高校生の約二週間にわたる本校訪問が六月二十九日から七月九日の日程で行われました。今回、三十一名の生徒が、本校生徒の家庭にホームステイして、本校の授業に参加したり、茶道、折り紙、小川町伝統の「和紙づくり」や加須市の特産物「こいのぼり」の絵付けなどの日本文化を体験しました。

また、本校の二年生三十人が七月二十七日から八月九日までの二週間、キングガロイ高校を訪問しま



主な部活動の成果(四月～八月)

○新聞部・筆曲部

両部は、七月二十九日から三十一日までの三日間、鳥根県松江市で開催された全国高等学校総合文化祭に埼玉県代表として参加しました。新聞部は、全国から百十八校の中で、「優秀賞」を獲得しました。



○陸上部

学校総合体育大会県大会において、四×四〇〇メートルリレーで優勝し、四×一〇〇メートルリレー、走り幅跳びの三種目が関東大会に出場しました。

四×四〇〇メートルリレーは関東大会でも三位に入賞し、八月に佐賀県で行われた全国大会に出場し、準決勝まで進み、大活躍をしました。

本校で埼玉大学の説明会実施

例年、本校からの多数の卒業生が進学している埼玉大学の全学部が参加した説明会が本校で実施されました。参加した約百五十人の生徒は、全体会の後、三分科会に分かれ、それぞれの学部の特徴・内容等の説明に熱心に耳を傾けていました。

人事異動

転入

職名	氏名	教科	前任校
教頭	田村 栄一	数学	坂戸高校
教員	下山 忍	地歴	市立川口総合高校
教員	中島 伸幸	数学	不動岡誠和高校
教員	仲村 輝之	英語	幸手商業高校
教員	神田 恵美子	国語	鷺宮高校
教員	櫻田 忍	化学	大宮中央高校
教員	猪俣 京子	生物	草加南高校
教員	安井 修	数学	新任
養護	組野 真琴		草加東高校
教諭	丑久保 恵子		羽生実業高校
室長	大熊 豊		伊奈学園総合高校
主任	海藤 由美		伊奈学園総合高校
司書			伊奈学園総合高校

退職、転出等

職名	氏名	教科	転出先
教頭	杉山 崇	理科	蓮田養護学校
教員	若林 正人	英語	蓮田養護学校
教員	生田 順三	数学	退職
教員	鎌田 稔	理科	北川辺高校
教員	横田 元信	理科	宮代高校
教員	田島 雅野	英語	鴻巣高校
教員	中原 環	国語	北本高校
教員	石上 敏	数学	春日部工業高校
教員	会田 泰之	情報	越谷南高校
教員	森 豊治	国語	春日部高校(再)
教員	中古 早苗	数学	北鎌倉女子学園
教員	柿沼 恵子	英語	退職
教員	鴨田 美智子	英語	退職
教員	下山 尚久	理科	越谷高校
教員	高橋 慎博	理科	退職
養護	斎藤 美津子		熊谷女子高校
教諭			熊谷女子高校(再)
事務	内藤 哲郎		南部教育事務所
室長	磯 紀子		羽生ふじ高等学園
主任	飯野 芳子		羽生実業高校
主事	鈴木 沙代子		八潮高校
司書			羽生実業高校(兼任)
業務主任	大塚 康弘		

計報

吉田 文武様
京都大学名誉教授
根岸 昭様
元業務主任

学友の集いに ご参加ください

恒例の学友の集いを左記のとおり開催いたします。新しく生まれ変わった母校を、ご自身の目でご覧頂きつつ、旧友を暖めて頂ければ幸いです。お誘い合わせのうえぜひご参加ください。

日時 平成十九年十一月十一日(日)
午前一〇時より
会場 埼玉県立不動岡高等学校
不動岡ホール

総会議事

- ①平成十八年度会務報告
- ②平成十八年度会計報告
- ③慶祝者表彰
- ④その他

懇親会

不動岡百周年記念会館にて
懇親会費 三、〇〇〇円

お問合わせは
(当日受付でいただきます)

☎〇四八〇―六一―〇一四〇
まで